



未来ロボティクスエンジニア育成協議会設立に向けて

協議会設立に向けた覚書
署名者一同

- ロボット開発やロボット導入などのロボット関係人材育成に係る取組は、産学が連携したオールジャパンで取り組んでいくことが不可欠です。
- このため、川崎重工業株式会社、株式会社デンソー、ファナック株式会社、株式会社不二越、三菱電機株式会社、株式会社安川電機、FA・ロボットシステムインテグレータ協会、独立行政法人国立高等専門学校機構は、ロボット革命イニシアティブ協議会※の取組の一つとして、産と学が相互に連携して、将来のロボット人材育成を推進する「未来ロボティクスエンジニア育成協議会」の設立に向けた具体的な準備を進めるため、覚書を締結します。
- また、準備の一環として、高等専門学校や工業高校の先生方を対象とした見学会及び情報交換を実施するとともに、本年12月18日(水)には、国際ロボット展(主催:一般社団法人日本ロボット工業会、日刊工業新聞社)において、「未来ロボティクスエンジニア育成協議会」の設立に向けた覚書の締結式を実施します。
※「ロボット新戦略」(平成27年2月10日日本経済再生本部決定)に基づき設立された協議会。
2019年12月1日現在、企業、大学、事業者団体等合わせて469法人、59人が参画。

記

<国際ロボット展 将来に向けたロボット関連人材育成の方向性について>

- ・日時: 令和元年12月18日(水) 12時45分～13時45分
- ・場所: 東京ビッグサイト西4ホール
- ・URL: https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/seminars.html#guest_seminars

<ロボット人材育成に関する覚書の概要>

- ・ 令和2年度以降に活動を開始
- ・ 事務局をロボット革命イニシアティブ協議会の下に設置
- ・ 他の企業等の参画を順次拡大

<令和2年度以降の具体的な活動内容(予定)>

学校の産業界に対するニーズと産業界の有するシーズのマッチングを実施し、産業界による高等専門学校等に対する、①教員向けインターンシップ、②講師派遣等といった活動を実施。